

令和7年度 学校評価(自己評価)

学校教育目標
○考える子 ○やさしい子 ◎たくましい子
人間尊重の精神を基盤とし、国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と自ら学び行動する力を備えた個性豊かな児童を育成する。

目指す学校像(ビジョン)
【学 習】 児童が学ぶ楽しさを実感し、誰とでも共に学ぶよさを実感する学校
【生 活】 安全・安心な生活をし、誰とでも助け合って仲良く生活する学校
【地域連携】 地域のよさを最大限に生かした特色ある教育活動を充実する学校

※前回との比較 (▲)増、(▼)減、(-)同

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準			
				努力指標		成果指標	
確かな学力の定着・向上	基礎・基本を大切に、児童が主体的に学ぶ授業を行い、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童を育成するデジタルを活用した授業改善	個に応じた指導を充実し、基礎・基本を確実に身に付けさせる	授業において、名簿、座席表に児童の単元の過程における学習状況を記録し、次時の指導に活かす	4 学習状況を記録し指導に活かすことを月に8回以上実施	3.0	4 「知識・技能」の観点で評定B以上が学級の90%以上	3.1
				3 学習状況を記録し指導に活かすことを月に6回以上実施		3 「知識・技能」の観点で評定B以上が学級の80%以上	
				2 学習状況を記録し指導に活かすことを月に4回以上実施		2 「知識・技能」の観点で評定B以上が学級の70%以上	
				1 学習状況を記録し指導に活かすことを月に3回以下		1 「知識・技能」の観点で評定B以上が学級の70%未満	
		課題を解決するために必要な、思考力・判断力、表現力を身に付けさせる。	授業において、思考力や想像力及び言語感覚を養い、主体的に伝え合う授業を行う	4 課題を明確にし、児童に道筋を立てて考えさせる授業を実施(90%以上)	3.2	4 「思考力・判断力・表現力」の観点で評定B以上が90%以上	2.9
				3 課題を明確にし、児童に道筋を立てて考えさせる授業を実施(80%以上)		3 「思考力・判断力・表現力」の観点で評定B以上が80%以上	
				2 課題を明確にし、児童に道筋を立てて考えさせる授業を実施(70%以上)		2 「思考力・判断力・表現力」の観点で評定B以上が70%以上	
				1 課題を明確にし、児童に道筋を立てて考えさせる授業を実施(70%未満)		1 「思考力・判断力・表現力」の観点で評定B以上が70%未満	
		読書活動を推進し、読書習慣を確立する	学級の時間や金曜日の朝の時間を活用し、読書に慣れ親しませる	4 朝、教室で児童の様子を把握し、必要な指導を実施(100%)	3.2	4 10分間、落ち着いて読書に取り組める児童が100%	3.0
				3 朝、教室で児童の様子を把握し、必要な指導を実施(90%以上)		3 10分間、落ち着いて読書に取り組める児童が90%以上	
				2 朝、教室で児童の様子を把握し、必要な指導を実施(80%以上)		2 10分間、落ち着いて読書に取り組める児童が80%以上	
				1 朝、教室で児童の様子を把握し、必要な指導を実施(80%未満)		1 10分間、落ち着いて読書に取り組める児童が80%未満	
		デジタルを活用した授業改善を図る	計画的にタブレットを使用して授業の効果を高めている	4 児童がタブレットを活用した指導を週に6回以上実施	2.9	4 児童が授業の中でタブレットを使用することが週に6回以上	2.8
				3 児童がタブレットを活用した指導を週に4、5回程度実施		3 児童が授業の中でタブレットを使用することが週に4、5回	
				2 児童がタブレットを活用した指導を週に2、3回程度実施		2 児童が授業の中でタブレットを使用することが週に2、3回	
				1 児童がタブレットを活用した指導を週に2回未満実施		1 児童が授業の中でタブレットを使用することが週に2回未満	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する心理的安全性のある校内環境づくり	教職員が明るいあいさつを励行するとともに、あいさつ、人の役に立とうと思う心の指導を全校で重点的に行う	4 教員自ら明るいあいさつ、人の役に立とうと思う心の指導を実施(90%以上)	3.7	4 自分から明るいあいさつができる児童が90%以上	2.9	
			3 教員自ら明るいあいさつ、人の役に立とうと思う心の指導を実施(80%以上)		3 自分から明るいあいさつができる児童が80%以上		
			2 教員自ら明るいあいさつ、人の役に立とうと思う心の指導を実施(70%以上)		2 自分から明るいあいさつができる児童が70%以上		
			1 教員自ら明るいあいさつ、人の役に立とうと思う心の指導を実施(70%未満)		1 自分から明るいあいさつができる児童が70%未満		
	いじめ・不登校・体罰を撲滅するために、アンテナを高くし、早期発見し、早期解決する	ふれあい月間における調査や普段の生活を通して実態把握するとともにSCおよび心のふれあい相談員等と連携を図り対処する	4 教員自ら児童に声をかけ、様子を把握し必要な指導を実施(90%以上)	3.6	4 毎日登校し、明るい学校生活を送っている児童が90%以上	3.7	
			3 教員自ら児童に声をかけ、様子を把握し必要な指導を実施(80%以上)		3 毎日登校し、明るい学校生活を送っている児童が80%以上		
			2 教員自ら児童に声をかけ、様子を把握し必要な指導を実施(70%以上)		2 毎日登校し、明るい学校生活を送っている児童が70%以上		
			1 教員自ら児童に声をかけ、様子を把握し必要な指導を実施(70%未満)		1 毎日登校し、明るい学校生活を送っている児童が70%未満		
健康な生活	安全な環境を整え、体力の向上、健康の維持増進を図る児童が進んで運動したくなる校内環境づくり	新体力テストの結果を分析し体育の授業を改善するとともに、目標に向かって努力する児童を育てる	4 体育の授業の1単位時間における運動量の割合が80%以上	3.2	4 体育の「知識・技能」の観点で評定B以上が90%以上	3.3	
			3 体育の授業の1単位時間における運動量の割合が70%以上		3 体育の「知識・技能」の観点で評定B以上が80%以上		
			2 体育の授業の1単位時間における運動量の割合が60%以上		2 体育の「知識・技能」の観点で評定B以上が70%以上		
			1 体育の授業の1単位時間における運動量の割合が60%未満		1 体育の「知識・技能」の観点で評定B以上が70%未満		
	食育指導を充実させ、食や自らの健康に対する意識を高め、健康の維持増進のための実践力を身に付ける	食に関する指導計画に基づき、給食指導を充実させる	4 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(90%以上)	3.2	4 楽しく給食を食べている子が90%以上	3.5	
			3 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(80%以上)		3 楽しく給食を食べている子が80%以上		
			2 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(70%以上)		2 楽しく給食を食べている子が50%以上		
			1 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(70%未満)		1 楽しく給食を食べている子が50%未満		
開かれた学校	家庭、地域に信頼される、開かれた学校づくりを推進する広報活動の充実	HPやたより、クラスルーム、学校公開などで教育活動の様子などを伝える	4 学期に5回以上、クラスルームでの配信、または学年のHPを更新する	2.9	4 保護者アンケートで良好が90%以上	3.0	
			3 学期に4回以上、クラスルームでの配信、または学年のHPを更新する		3 保護者アンケートで良好が80%以上		
			2 学期に3回以上、クラスルームでの配信、または学年のHPを更新する		2 保護者アンケートで良好が70%以上		
			1 学期に2回以上、クラスルームでの配信、または学年のHPを更新する		1 保護者アンケートで良好が70%未満		